

12月指導計画(3歳以上児クラス) 幕張第二保育所												所長印	主任印	担任印										
3歳児				4歳児				5歳児																
子どもの姿	・年上児の姿を見て「やってみよう」と意欲的に取り組む姿がある。 ・異年齢児と共に遊ぶ中で、ルールのある遊びやごっこ遊びの経験が増え、遊びの楽しさがわかったり、遊びの興味が広がってきた。				・仲良しの友達と好きな遊びを楽しみつつ、保育者に誘われ他の遊びに興味を持ち参加したり、他の友達と遊んだりしている。友達との遊びの中では、トラブルが多いが、保育者が間に入る事で自分の思いが伝えられるようになってきている。 ・生活面は一通り自分でやっているが、雑な事が多い。				・問題や困ったことが起きた時、年長会議で話し合おうという子が多くなる。ルールを変更したり、新ルールを設けたりして遊びや生活がうまく進むようにしている。 ・自分達のやりたいことを言葉に表して、それを実現させようとする姿が見られる。															
	・手洗いやうがいの仕方が分かり進んでやろうとする。 ・保育者や友達といろいろな遊びを通して関わりながら、表現することや体を動かすことを楽しむ。				・生活に必要な事を、なぜ行かぬかの理由がわかり一つひとつ丁寧に行おうとする。 ・自分の思いや考えを言葉にして伝えたり、相手の思いや考えに気付いたりする。				・病気の予防などに必要な習慣や態度がわかり進んで行う。 ・友達と協力したり工夫したりして、自分達で遊びを發展させて進める楽しさを味わう。															
ねらい	活動内容				環境設定				予想される子どもの姿				保育者の援助・配慮及び環境の再構成											
	活動内容				環境設定				予想される子どもの姿				保育者の援助・配慮及び環境の再構成											
養護	一人一人の様子に合わせて、時間に余裕を持ち一対一でゆとりと関わる。				自分でできることでも保育者に「やって」と甘え、行動が進まない子がいる。①				甘えを充分に受け止め必要に応じて手助けをしながら、子ども自身が「自分でやってみよう」と思える言葉掛けをする。				保育者の援助・配慮及び環境の再構成											
	〇うがい				ガラガラとブクブクうがいの違いが分かるように絵や言葉で知らせる。				入室後や食後にうがいをする。⑦				区別してうがいをするのが難しい子もいるので、保育者が見本となり、うがいの違いに気づけるようにしていく。											
教育	〇手洗い				手洗いの歌を用意する。 腕まくりがしやすい服を用意してもらう。				歌に合わせて丁寧に手を洗う。⑦				水が冷たくて手を洗うのが雑になってしまいうもいるので、保育者が見本となり丁寧に洗えるようにする。											
	〇防寒着の始末				コート掛けを用意し、自分のハンガーが分かるようにマークをつける。 入室後の流れを知らせ、動線がスムーズになるようにする。				自分のハンガーを見つけてコートを掛け、落ちないように前に留める。④ チャックやボタンを自分で留めようとする。④				保育者が見本となりながら子ども達と一緒に洗い、やりかたを知らせていく。											
健康	〇箸遊び				箸遊び道具を用意する。				興味を持ち箸を使ってみようとする。⑦⑧ 正しい持ち方を意識して使おうとする。④				正しい持ち方を知らせ、箸に興味を持てるようにする。 正しく使える子に対しては保護者にも伝え、給食の食具を箸に切り替える。											
	〇鬼ごっこ				形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。				友だちや保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。④ ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。⑦				保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。											
人間関係	〇箸遊び				箸遊び道具を用意する。				興味を持ち箸を使ってみようとする。⑦⑧ 正しい持ち方を意識して使おうとする。④				正しい持ち方を知らせ、箸に興味を持てるようにする。 正しく使える子に対しては保護者にも伝え、給食の食具を箸に切り替える。											
	〇鬼ごっこ				形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。				友だちや保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。④ ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。⑦				保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。											
環境	〇鬼ごっこ				形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。				友だちや保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。④ ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。⑦				保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。											
	〇鬼ごっこ				形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。				友だちや保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。④ ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。⑦				保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。											
言葉	〇鬼ごっこ				形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。				友だちや保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。④ ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。⑦				保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。											
	〇鬼ごっこ				形鬼や色鬼など簡単なルールのある遊びを設定する。				友だちや保育者の様子を見て興味を持ち参加してみようとする。④ ルールが分からなくて戸惑う子もいるが保育者と一緒にやってみようとする。⑦				保育者も一緒に遊びに入りながらルールを丁寧に知らせ、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていく。											
表現	〇表現遊び				好きなお話しのおペレッタの曲や、小道具をさり気なく用意しておく。 リズムの取りやすい曲や扱いやすい楽器を用意しておく。				友だちの様子を見たり、保育者の誘い掛けで少しずつ興味を持ち、一緒にやってみようとする。⑦⑧				保育者も一緒に入りながら、その子なりの表現をを楽しめるようにしていく。 周りでどんな遊びをしているのか気づけるような言葉を掛けていく。											
	〇表現遊び				好きなお話しのおペレッタの曲や、小道具をさり気なく用意しておく。 リズムの取りやすい曲や扱いやすい楽器を用意しておく。				友だちの様子を見たり、保育者の誘い掛けで少しずつ興味を持ち、一緒にやってみようとする。⑦⑧				保育者も一緒に入りながら、その子なりの表現をを楽しめるようにしていく。 周りでどんな遊びをしているのか気づけるような言葉を掛けていく。											
行事予定	5日(火)年長児クッキング お買いものごっこ 6日(水)消防署立会い避難訓練 14日(木)おはなし会 19日(火)レストランごっこ 20日(水)スタンプラリー 22日(金)おたのしみおやつ 28日～1月3日年末年始休み				家庭との連携				年長児保護者との連携				小学校・地域との連携											
	5日(火)年長児クッキング お買いものごっこ 6日(水)消防署立会い避難訓練 14日(木)おはなし会 19日(火)レストランごっこ 20日(水)スタンプラリー 22日(金)おたのしみおやつ 28日～1月3日年末年始休み				家庭との連携				年長児保護者との連携				小学校・地域との連携											
月の反省	3歳児				手洗いやうがいは歌を流して行ったことで前よりも意識して手洗いをする姿が見られている。引き続き、丁寧にできるよう見守り、必要に応じて声をかけていく。上着掛けの設置を行い、入室後の流れが少し変わったが、保育者が実際に手本を示しながら行うことで子どもも流れが分かり、自分でできるようになってきている。チャックが締めにくい上着もあるので、一緒に行うようにしていく。表現遊びでは、年上児の姿に刺激を受け、最初はじっと様子を見ていた子どもと一緒に楽しむ様子が見られるようになってきた。保育者も一緒に遊びに入り、楽しさが味わえるようにしていく。				4歳児				手洗いは細かいところきれいに洗おうとする姿は見られた。うがいが忘れがちなので、最初に口をゆすいでからうがいをする事を、その意味も知らせ、習慣づけるようにしていく。 鬼ごっこや花いちもんめなど、自分からやりたいと言う姿が増えた。集団も少しずつ大きくなっている。一方で、遊びが長続きしない様子も見られる。保育者も一緒に遊びながら、じっくりと遊びこめるようにしていく。 遊びの中で困った事がある時、どうしたらよいか、子ども達に投げかけ、自分達で考えようとする場を設けている。考えたり、その考えを友達に伝える、という経験を続けていく。				5歳児				お店屋さんごっこ、レストランごっこを通し、話し合いや準備といった過程から楽しむことができた。準備をグループで作業をしたところ、友達の思いに触れたり、自分の意見を伝えたりする機会が持てた。友達の強み、得意なことが何かと子ども達(数や形が得意、文字を読むのが得意、アイデアが出せる等)にも感じられている。行事、経験活動を通し、人の役に立つ喜びを感じる姿が見られた。 お手紙遊びから不思議に思ったことを郵便局に聞きに行った。保育所内だけで解決できないことを自分達で調べられる体験ができたことは次につながると思う。(修了児遠足のための駅探検等) 気温計、体感を通じて身支度を考える姿が見られた。ポケットに手を入れる、ズボンのすそが長い、どの程度汚れたかを自分で考える等、自分で考える力が弱いので考えられるようにしていきたい。			
	3歳児				手洗いやうがいは歌を流して行ったことで前よりも意識して手洗いをする姿が見られている。引き続き、丁寧にできるよう見守り、必要に応じて声をかけていく。上着掛けの設置を行い、入室後の流れが少し変わったが、保育者が実際に手本を示しながら行うことで子どもも流れが分かり、自分でできるようになってきている。チャックが締めにくい上着もあるので、一緒に行うようにしていく。表現遊びでは、年上児の姿に刺激を受け、最初はじっと様子を見ていた子どもと一緒に楽しむ様子が見られるようになってきた。保育者も一緒に遊びに入り、楽しさが味わえるようにしていく。				4歳児				手洗いは細かいところきれいに洗おうとする姿は見られた。うがいが忘れがちなので、最初に口をゆすいでからうがいをする事を、その意味も知らせ、習慣づけるようにしていく。 鬼ごっこや花いちもんめなど、自分からやりたいと言う姿が増えた。集団も少しずつ大きくなっている。一方で、遊びが長続きしない様子も見られる。保育者も一緒に遊びながら、じっくりと遊びこめるようにしていく。 遊びの中で困った事がある時、どうしたらよいか、子ども達に投げかけ、自分達で考えようとする場を設けている。考えたり、その考えを友達に伝える、という経験を続けていく。				5歳児				お店屋さんごっこ、レストランごっこを通し、話し合いや準備といった過程から楽しむことができた。準備をグループで作業をしたところ、友達の思いに触れたり、自分の意見を伝えたりする機会が持てた。友達の強み、得意なことが何かと子ども達(数や形が得意、文字を読むのが得意、アイデアが出せる等)にも感じられている。行事、経験活動を通し、人の役に立つ喜びを感じる姿が見られた。 お手紙遊びから不思議に思ったことを郵便局に聞きに行った。保育所内だけで解決できないことを自分達で調べられる体験ができたことは次につながると思う。(修了児遠足のための駅探検等) 気温計、体感を通じて身支度を考える姿が見られた。ポケットに手を入れる、ズボンのすそが長い、どの程度汚れたかを自分で考える等、自分で考える力が弱いので考えられるようにしていきたい。			

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 ア.健康な心と体 イ.自立心 ウ.協同性 エ.道徳性・基本意識の芽生え オ.社会生活との関わり カ.思考力の芽生え キ.自然との関わり ク.数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ.言葉による伝えあい コ.豊かな感性と表現